

細川コレクションⅢ

金石之交のまじわり

微笑みのみほとけと
細川コレクション

国指定重要文化財《石造菩薩半跏像》中国・北魏時代(六世紀) 永青文庫蔵



二〇二三年 十月七日〔土〕〜十一月二十四日〔日〕

●前期展示 十月七日(土)〜十一月五日(日) ●後期展示 十一月七日(火)〜十二月二十四日(日) ※作品保護のため、会期中に一部展示替えを行います。

熊本県立美術館「本館」別棟展示室

■開館時間／午前九時三十分〜午後五時十五分(入館は午後四時四十五分まで) ■休館日／月曜日。月曜祝日の場合は翌平日休館。

■観覧料／一般二〇円(一六〇円)、大学生二〇円(一〇〇円) ※高校生以下無料。障害者手帳をお持ちの方無料。(一)内は二十名以上の団体料金。

《主催》熊本県立美術館 熊本日日新聞社、R.K.熊本放送 《特別協力》公益財団法人永青文庫 《協力》肥後銀行



熊本県立美術館 HP

細川コレクションには、高名な美術品コレクターでもあった細川家第十六代当主・護立が蒐集したアジアの仏像が多く含まれています。例えば、神秘的なほほえみが魅力的な国指定重要文化財《石造菩薩半跏像》は、コレクションの代表格の一つですが、もとは他の中国石仏とともに、明治時代に岡倉天心の助手として中国美術を日本に紹介した早崎梗吉から入手したものです。

このほか、現存数が少ない中国・南北朝時代(四〜六世紀)の南朝で作られた国指定重要文化財《銅造如来坐像》など、美術史上、きわめて重要な作品が多いのは、護立と様々な分野のスペシャリストとの間に頻繁な交流があったからでした。護立は、各分野の専門家との交流により美術品蒐集のための審美眼を養い、ネットワークを生かして多くの一級品を蒐集していったのです。

人と人の間に結ばれた固い絆は、金属や石にたとえて《金石之交》と称することがあります。そして、金属や石は完全な存在とされた仏を制作するのに格好の素材でもありました。



画像：茨城県天心記念五浦美術館所蔵

早崎梗吉 1874~1956
東京美術学校(現東京藝術大学)入学後、岡倉天心の助手として中国美術を日本に紹介。《石造菩薩半跏像》など、細川コレクションの中国石仏の多くは早崎が中国で蒐集し、後に護立が買い取ったもの。



国指定重要文化財
《銅造如来坐像》
中国・宋時代 元嘉十四年(四三七)
永青文庫蔵



《石造如来坐像》
中国・唐時代(八世紀)
永青文庫蔵



細川護立 1883~1970
細川家16代当主で、永青文庫の創立者。幼少期から中国への関心を深め、貴族院議員、文化関係の要職を歴任して学者たちと交流。



内藤湖南
《湖南先生支那論自序草》
大正三年(一九一四) 永青文庫蔵



《石造弥勒菩薩坐像》
インド・パーラ時代(八〜十世紀)
永青文庫蔵 当館保管



《石造菩薩立像》
中国・北周(隋時代(六〜七世紀))
永青文庫蔵

同時期開催
特別展 美をつくし
大阪市立美術館コレクション
■9月16日(土)~11月12日(日)
■会場:本館 第2展示室
■本展との共通料金:一般1300円
大学生1100円

美術館コレクションⅢ
■11月21日(火)~12月24日(日)
■会場:本館 第2展示室
■本展との共通料金:一般430円(310円)
大学生260円(200円)
※()内は20名以上の団体料金。



<交通案内>

※「熊本地震」の影響により、通行規制が行なわれています。変動の可能性ありますので、詳しくは当館までご確認ください。
○バス/「熊本桜町(バスターミナル)下車、城形苑内を通過し、歩いて15分、またはバスターミナルで熊本城周遊バス(通称しるめぐりん)に乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分 [熊本城周遊バスは、JR熊本駅前起点、地図中の白線のルートを時計回りに運行します]
○市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
○JR/「熊本駅」から熊本城周遊バスで「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分
上熊本駅からタクシーで10分
○阿蘇くまもと空港/空港バスで「熊本桜町(バスターミナル)下車、歩いて15分、またはバスターミナルで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分
○駐車場/二の丸駐車場[有料]、三の丸駐車場[有料]
※城形苑と二の丸駐車場の間を無料シャトルバスが運行しています(15~20分おき)

KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館
本館 〒860-0008 熊本市中心区二の丸2番
TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512
<https://www.pref.kumamoto.jp/site/museum/>